

「平成24年度電波の利用状況調査」の調査・評価結果（北陸局版）の概要

1. 平成24年度調査の調査対象周波数帯(3.4GHz超)

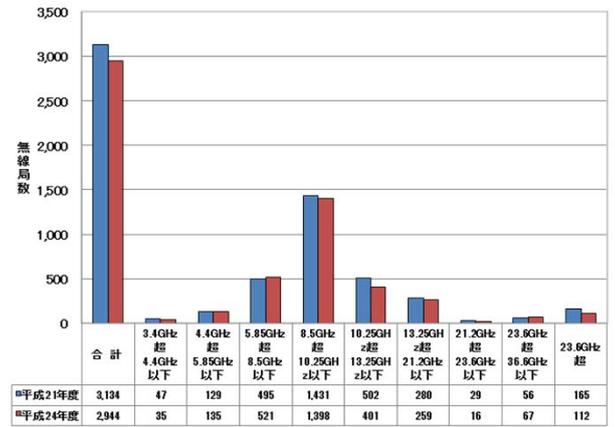
北陸の電波の利用状況

3.4GHz超の周波数全体の無線局数は、全国では平成21年度136,166局から平成24年度139,364局に約2.3%増加しているが、北陸管内では、平成21年度3,134局から平成24年度2,944局に約6.1%減少した。

3.4GHz超の周波数を使用する無線局の主な用途

- ① 3.4GHz超4.4GHz以下：音声STL/TTL/TSL、放送監視制御等
- ② 4.4GHz超5.85GHz以下：5GHz帯アマチュア無線、DSRC(狭域通信)等
- ③ 5.85GHz超8.5GHz以下：電通・公共・一般業務(中継系・エントランス)、映像FPU等
- ④ 8.5GHz超10.25GHz以下：船舶航行用レーダー、SART(捜索救助用レーダートランスポンダ)等
- ⑤ 10.25GHz超13.25GHz以下：映像用FPU、11GHz帯電気通信業務(中継系・エントランス)等
- ⑥ 13.25GHz超21.2GHz以下：18GHz帯電気通信業務(エントランス)、衛星アップリンク等
- ⑦ 21.2GHz超23.6GHz以下：主に22GHz帯電気通信業務(中継系・エントランス)等
- ⑧ 23.6GHz超36GHz以下：26GHz帯加入者無線アクセスシステム、24GHz帯アマチュア無線
- ⑨ 50GHz帯簡易無線等

周波数区分全体の利用状況

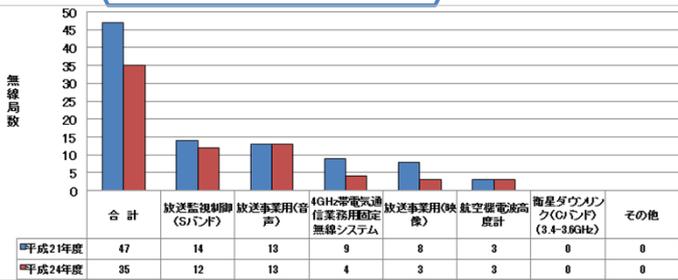


[参考]

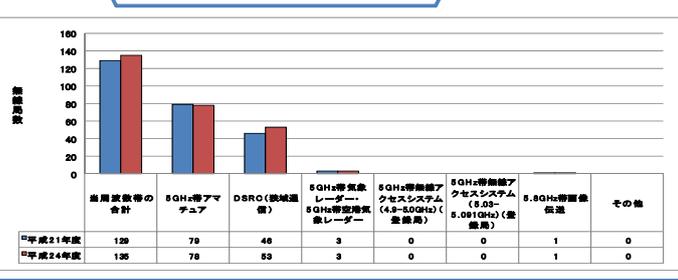
総務省報道資料
平成24年度電波の利用状況調査の評価結果及び意見募集の結果

2. 周波数区分ごとの調査・評価結果

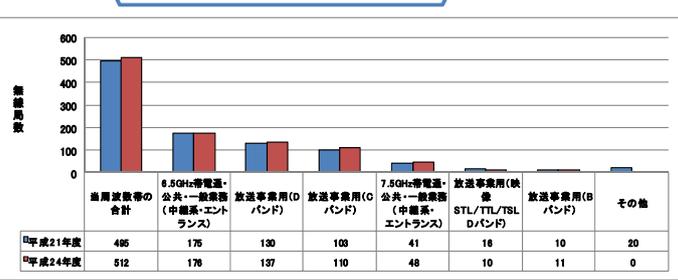
3.4GHz超 4.4GHz以下



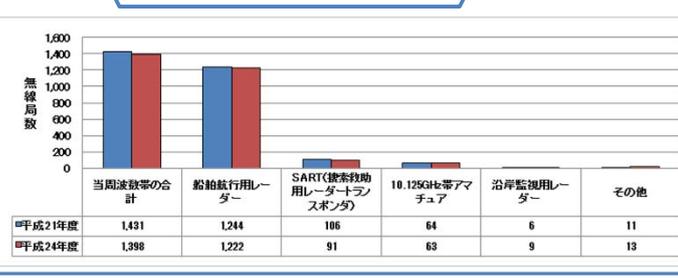
4.4GHz超 5.85GHz以下



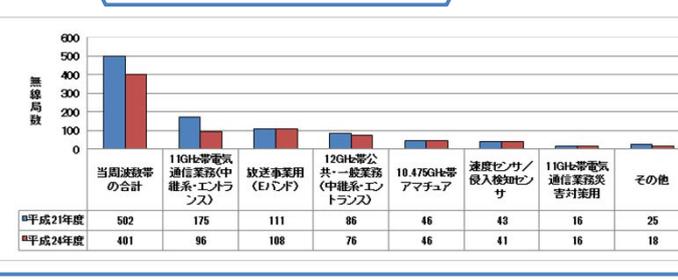
5.85GHz超 8.5GHz以下



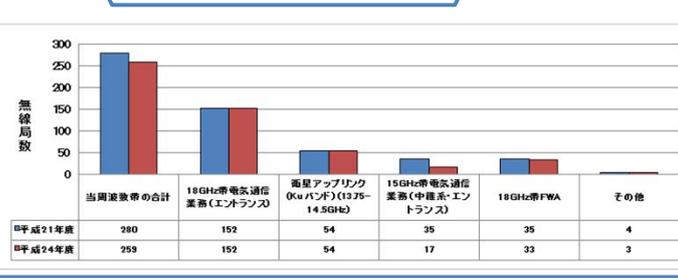
8.5GHz超 10.25GHz以下



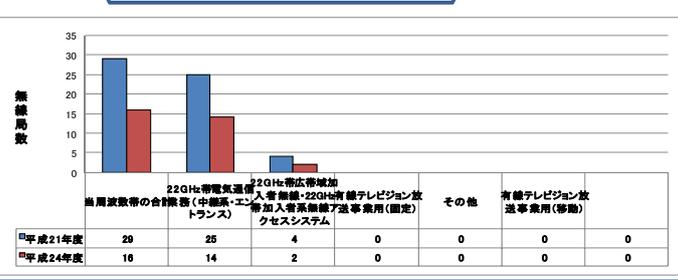
10.25GHz超 13.25GHz以下



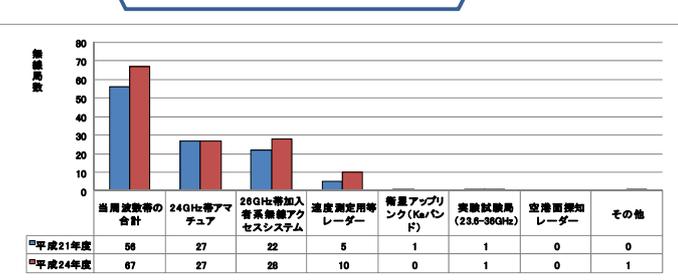
13.25GHz超 21.2GHz以下



21.2GHz超 23.6GHz以下



23.6GHz超 36GHz以下



36GHz超

